

沖繩慰靈祭



愛知県神社庁では、毎年国内外の戦地を訪ねて慰霊祭を斎行し、戦没者の慰霊と世界平和を祈る旅を行っている。本年は沖縄県本土復帰40年を記念し、197名が参加して「沖縄慰霊祭の旅」を行った。



7月11日早朝、中部新国際空港を出発した一行は那覇空港到着後、ひめゆりの塔に向かい、その後沖縄平和祈念堂にて牧野武彦副庁長が斎主を務め、沖縄県神社庁より沖縄県神社庁名誉庁長末安大孝氏、財団法人沖縄県平和祈念財団副会長大城藤六氏を来賓に招き慰霊祭が斎行された。英霊の遺徳を偲ぶ人たちの心を表すように場内は清浄な空気に包まれた。

愛知県内より持参した日本酒、水、煙草、菓子などの庭積み神饌が供せられ、愛知県神社総代会常任理事桑富夫氏による慰霊のことばの奉読の後、愛知県護国神社の舞姫により「みたま慰めの舞」が奉納された。参列者全員が玉串を奉奠し拝礼を終えた後、小串庁長、末安名誉庁長、我那覇沖縄県平和祈念財団事務局長の挨拶があった後、慰霊祭を終えた。終了後、参加者は愛国知祖の塔への参拝を行い、67年前の英霊の心を胸に刻みつつ那覇空港より愛知県へ戻った。